

秋田市立中通小学校「環境美化の集い」

東北森林管理局 技術普及課、秋田森林管理署

6月18日に、秋田市立中通小学校4年生36名を対象とした「環境美化の集い」を実施しました。この活動は、木製プランターを使用した緑化活動や森林教室を通して、児童の豊かな心を育むとともに、森林について理解を深めていただくことを目的に、平成14年度から実施しているものです。23回目となる令和6年度は、先輩から引き継いだ木製プランターの表面を紙ヤスリで磨き、木材の再利用について学習した後、4種類のきれいな花苗を植えました。また、「森と木の学習」を通して森林の役割について学びました。

MENU1



木製プランターお手入れ

昨年度に引き続き、木製プランターのお手入れに挑戦しました。はじめに、お手入れ前とお手入れ後のプランターを見比べながら、木製品のお手入れについて学んだあと、紙ヤスリを使ったお手入れに取り組みました。子ども達は「疲れる～」 「腕が痛い～」と言いつつも、夢中になって磨いていました。きれいになったプランターを見て、木製品をお手入れして長く使うことの大切さを実感していました。



お手入れ前



お手入れ後

MENU2



森と木の学習

災害を防ぐ働きや水を貯える働き、地球温暖化防止に貢献する働きなど『森林が持つ役割』について、紙芝居を使い紹介しました。途中で難易度が少々高めなクイズに挑戦してもらいましたが、正解者が多く驚きました。子ども達は職員の話に真剣に耳を傾け「その言葉テレビで聞いたことある」「木が二酸化炭素を吸収することを初めて知った」と積極的に森林について学んでいました。



MENU3



花苗の植付け

夏の暑さにも強く、初夏から晩秋まで長く花を咲かせる『ニチニチソウ』『ペンタス』『ポーチュラカ』『コリウス』の4種類の花苗を植えました。名前の由来や開花期、花言葉などを学んだあとに、職員の説明を聞きながら1つひとつ丁寧に植えていました。子ども達は「花の根をほぐすのが難しかった」「自分たちで植えた花なので大切に育てたい」との感想を述べていました。

